

日本の人口推移

日本の人口のピークは2004年12月の1億2784万人。
2010年の世界人口は69億人で日本は10位の人口を持つ。1位中国、2位インド、3位米国。

江戸幕府が発足した1603年の人口は1227万人だった。
平和な時代が265年間続き、その間人口は増え、
1868年の明治維新の時の人口は3330万人と2.7倍に膨れた。

明治政府は欧米に追いつけ負い越せの方針で富国強兵のため徴兵制度を開始、
生めや増やせの方針で明治・大正・昭和と一貫して人口増が続いた。

1954年の第二次世界大戦の終戦時、日本の人口は7199万人と明治維新時の約2倍になっていた。

敗戦後、兵隊さんが帰国し団塊の世代が誕生、
2004年には1億2784万人に達し、それ以降減少傾向にある。

